



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン・レバノン関係：地中海油ガス田探掘をめぐる動き（3日付テヘラン・タイムズ紙）

1. 2日、ロクナバーディー駐レバノン・イラン大使は、レバノンのエネルギー大臣との会談後、記者に対し、「イランは、地中海における油ガス田の探鉱に関して、レバノンを支援する用意がある」と述べた。「我々は、油ガス田探鉱の分野で有能な企業を有しているため、レバノンとの協力の用意を表明した」とも発言した。
2. 同大使の発言は、地中海の油ガス田および排他的経済水域の境界線をめぐって、レバノンとイスラエルとの間の緊張が高まる中、発出された。

中東調査会注

イスラエルでは、2000年以降、主に米国企業により、石油ガス探鉱および開発が活発になされており、2009年には、イスラエルとレバノンの排他的経済水域の境界付近に海上巨大ガス田を発見した。レバノンは2010年頃より、同ガス田の権利を主張している。